

学外研修報告

－機械・工作技術セミナー参加報告－

工作部門 林 祐太

1.はじめに（目的等）

本研修は機械工作及び工作実習を業務とする技術職員を対象としており、職務遂行に必要な実践的技術の向上を図るとともに工作分野における他機関の職員との技術情報の共有を行うことを目的として参加した。

2.期間・場所

期間：平成 30 年 9 月 13 日 ～ 平成 30 年 9 月 14 日（2 日間）

場所：九州工業大学 戸畑キャンパス（福岡県 北九州市）

3.参加者等

34名

4.研修内容

1. メーカー説明会（タンガロイ）
2. ダンドリ会議（課題図面に対して加工段取に関する討議および発表等）
3. マイスターによる加工実演および実技指導
4. 機械工作技術研究会（仮）の発足・開催に向けた打合せ

5.まとめと感想

メーカー説明会では株式会社タンガロイの方から「転削工具（フライス工具）のご提案」と題しての講演があった。メーカーカタログの数値だけでなく実際の加工の際の注意点や難削材加工のコツを聞くことができた。

ダンドリ会議においては本学と同等の機械を所有していても異なる工具を使用している例など今まで実施したことのない加工方法を知ることができ、業務の見直しを行うとともに新しい技術に関する情報を取得することができた。

マイスター実演では、業務で行っているフライス加工・測定・やすりがけなど技能について一段上の精度を出す工程を直に見せていただいた。また、ランチミーティング時には今まで作られた製品などでの苦労話や工夫を丁寧に教えていただけた。

本研修は九州工業大学が主催しているものであるが、これを全学的に展開するため機械工作技術研究会（仮）の発足が提案されており、このことについて話し合った。実技や実習を積極的に取り入れた研修の概要について大枠決まってきたので、詳細を持ち帰り各機関で意見整理することとなっている。